

超早場米の内金(概算金) 3000円安のスタート

日本農業新聞は7月24日付けで、「平年作で19万ト過剰 14年産米の作付け見込み」の記事で、14年産米は生産数量目標を3万5000ヘクタール上回り、平年作なら19万ト分の過剰が発生すると報じました。

前年産の在庫61万トのうち35万トを隔離しても26万トが持ち越し在庫になり、これに19万トが加わります。さらに同紙29日付では「超早場米の内金下げ 産地在庫の増加など反映 高知」の記事で、JA全農こうちが定めた内金(概算金)は、「南国そだち」の第1期が前年同期比3000円安の60キロ9000円。同じく「ナツヒカリ」は同3400円安の8200円と報じました。



しんぶん赤旗7月18日付『文化の話題』



しんぶん赤旗日曜版7月20日号



ミレー「バター作りの女」1870年 油彩 吉野石膏コレクション 山形美術館所蔵

ここ庄内では、前年産の概算金1万1000円より3000円安となれば、過去最低だった2010(平22)年産の9000円をも下回ります。22年産米は米戸別所得保障モデル対策が始

「種をまく人」種はソバ!

ミレー生誕200年

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

しんぶん赤旗7月18日付『文化の話題』。府中市美術館長・井出洋一郎さんの話である。また、同日曜版20日号も「農民が主役時代に衝撃」大きく腕を振り、種をまく男。堂々とした姿態から威厳を感じさせる」と紹介している。



小麦でなく、寒冷地で

ミレーは1814年フランスの農家に生まれ、岩波書店のシンボルマークでもある。府中市美術館、英国ウエルズ国立美術館、ボストン美術館、山梨県立美術館、米国人エギー美術館に5つあることに驚き、なぜという疑問も湧く。

国民監視は違法だ 自衛隊に情報保全隊というのがあり国民を監視していること、そんなことは許されないことだからと裁判になっていることを、いつかこの欄に書いたんです。

井出さんは、「10年かけて構図を研究しながら寸法を拡大し、理想の『種をまく人』像を創造していった」という。ミレーのメッセージ。1つは、5作品は少々の違いがあるが、すべて斜面の畑で、まかれた種はパンにする

▼一番の仙台地裁は、12年3月この情報収集は違法だと賠償を命じたが、止めれとはしなかったのだ。オカシイでしょ。普通だば、オメー、ワリゴドシタンダサゲ、アドヤメレヤノとなるんだろや。

「種をまく人」像を理想の『種をまく人』像を創造していった」という。ミレーのメッセージ。1つは、5作品は少々の違いがあるが、すべて斜面の畑で、まかれた種はパンにする

▼「種をまく人」像を理想の『種をまく人』像を創造していった」という。ミレーのメッセージ。1つは、5作品は少々の違いがあるが、すべて斜面の畑で、まかれた種はパンにする

も育つソバであること。ブルジョアが、食べられないというソバの種をもつて、官展に乗り込んだ衝撃作である。右からは厳しい批判、左からは称賛の嵐が起ったという。

2つは、農村で働く女性の役割を絵画で称えた初の画家でもあり、山形美術館に「バター作りの女」が展示されている。

自衛隊が集会を知っていたのかは問題だが、国民の税金から給与を貰っている公務員が、イラクへ行くのはアブネーゾ、憲法の問題もアルゼ、というのがナゼテメーラからニラマレルことになるんだヨ。

▼28日の仙台高裁で元保全室長が初めて法定で証言台に立つことを決定したが、防衛大臣が承認する内容の範囲で、シャベルことが制限されるといふ限定付きなんだぜ。

▼日本の三権分立はどうなるんですかねー。(石川)